

未来をつくる 種まきに尽力

町長 小園 拓志

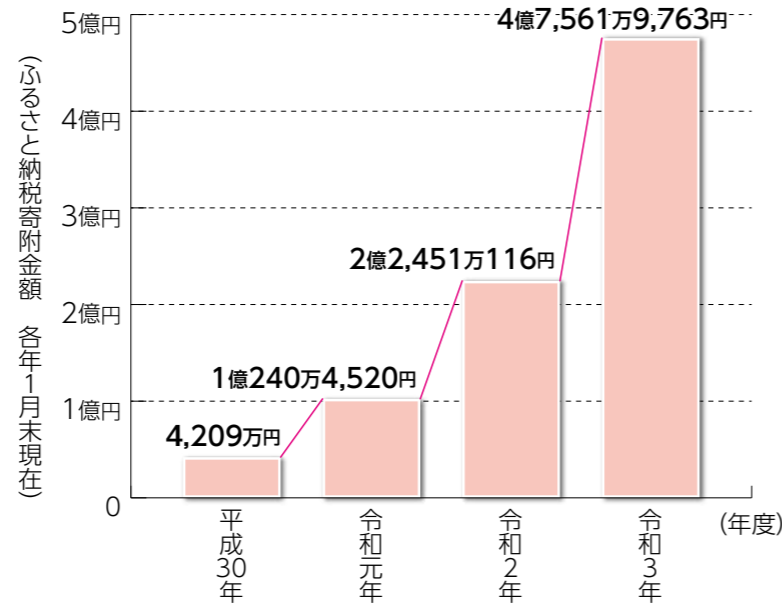


令和4年度当初予算の記者説明をする小園町長

私の任期満了まで1年を切りました。2月下旬に事態が急展開したウクライナ情勢は、どのような結論を見出そうとも、日本全体にエネルギーや食糧に深刻な危機をもたらす可能性が高いと思われます。コロナ禍に見舞われた私たちがさらに苦しい状況となることにはいづくかの割り切れなさやあきらめの気持ちが芽生えても仕方ないと思います。しかし、自治体の役割はそういった厳しい状況の中でも町民の生活を守り、サポートしていくことだと考えています。

このたび議会でお認めいただいた令和4年当初予算では、災害発生への備えや高齢者の命を守ることにしっかり目配りした上で道路改良・修繕に3億円余をつけました。住宅の断熱性能向上リフォームは燃料費の高騰を見据えた省エネ対応と、高齢者のヒートショックによる事故死を少しでも防ぐための方策です。高齢者の皆さんの生き生きとした暮らしをサポートする応援券事業、高校生への就学支援金はいずれも複数年度交付して行く計画です。この規模の自治体がすぐに大きなことはできませんが、小さく始めて大きく育てていきます。以降、ごく一部をご説明します。

ふるさと納税寄附額の推移



令和4年度の取り組み

国保税 さらに引き下げ

土地や建物の固定資産税額に比例してご負担いただく「資産割」は令和3年度時点で7年かけ段階的に引き下げ

する予定でしたが、さらなる精査の結果、令和4年度から全廃を決めました。各世帯にかかる平等割も2千円下げ、世帯平均で年間1万2千円の減額となります。



道路修繕 (西軽井沢)



道路拡幅工事 (しな鉄アンダーパス付近)

道路予算に 3億円余り

救急車の通れない道路や、高齢者の体への負担が大きいガタガタの道路を数年集中して改良、修繕していきます。区ごとのバランスにも十分に配慮します。

令和3年度の取り組み

コロナワクチンの 迅速接種

幅広い年代の皆さんにできるだけ早く打っていただけるよう、接種会場では日々オペレーションの改善に取り組み、待ち時間の最小化に努めました。国や県、町内医療機関との連携が奏功しました。



コロナ禍の経済対策

プレミアム商品券は9千万円を超える町支出により4億円近い経済効果をもたらしました。事業者、農業者には1件10万円を支給。県が指定する事業者範囲より広い事業者

給食費無償化を 本格実施

近隣自治体でも無償化するところが出てきており、地域の政策をリードする施策となりました。

ふるさと納税 4億円突破

PR特設サイト「みよたんクエスト」が2年目に入り、使い道の開示をさらに進化させる一方、「THE HIRAMATSU 軽井沢 御代田」の宿泊券、クラブフットビール「よなよなエール」の取り扱い等により、2月末までに昨年度の倍を超える4億7,561万円を集めました。



不妊治療に 独自支援

国が4月、保険適用を始めるところを受け、公的医療保険や県補助金でカバーされない不妊治療・不育症治療に関し、町独自の補助金を支給します。

小規模保育所 2園を開設

ニーズが増している0〜2歳児の「未満児」保育専門施設が4月開設します。既に定員各19名がいっぱいとなる人気です。

基金を 大幅組み替え

町の基金の中心である財政調整基金の積み立て用途を25億円とした上で、これまで「埋蔵金」状態となっていたいくつかの基金を高齢者・障害者福祉や給食費無償化、南北小学校の建て替え、社会資本整備の4基金に組み替えます。

高校生世帯には 就学支援金

町内に高校がないハンデいを緩和するため、町内から高校に通う皆さんに月千円の就学支援金を支給します。

高齢者に 生活応援券

65歳以上の皆さんの生き生きとした暮らしを応援するため、年間5千円分の町内店舗用商品券をお贈りします。



断熱リフォームを 支援

御代田町は寒冷地ながら断熱性能の低い住宅がまだまだ多いのが現状です。工事費の半額、50万円までを支給します。空き家改修補助金や耐震改修補助金も組み合わせることが可能です。